

# 第133回 海上交通システム (MTS) 研究会 ご案内

## “Maritime Risk Management—強靱なリスク対応策を探る—”

～シミュレーション手法の有効活用～

船舶安全通航の遂行・維持および海難事故防止対策の実施と徹底は、海事産業を発展させるための最も基本的な要件である。そのためには、信頼できる安全マネジメントシステムに基づいた海事リスクマネジメントシステムの構築と運用が必要となる。

第133回 MTS 研究会は、特に、海難事故防止に有効な手段であるシミュレーションに焦点を当て、その効果と役割を認識し、加えて、実際の操船現場における海上交通法規の現状と取り組むべき課題を考察する。それによって、今後の海事産業の発展に資する有効なリスク対応策とリスクマネジメントの方向性を議論・検討したい。

報告内容は、①海事リスクマネジメントシステムを構築するための基盤、  
②船舶シミュレーションの活用方法と展開、  
③操船現場の実態と海上交通法規の乖離 などが核となる。

参加通知は、研究会・情報交流会の夫々を明記して、事務局宛 6月2日(金)までに(なるべくe-mailにて)!

## プログラム

1. 日時 平成29年6月8日(木) 13:30~17:25 あと情報交流会
2. 場所 神戸大学大学院海事科学研究科(神戸市東灘区深江南町5-1-1)  
総合学術交流棟1階 梅木Yホール  
アクセス：<http://www.kobe-u.ac.jp/guid/access/fukae/index.html>
3. 共催 神戸大学大学院 海事科学研究科 国際海事研究センター・輸送システム科学研究部門
4. 次第  
総合司会 幹事 澤井 弘保  
13:30~13:35 会長挨拶 会長 古莊 雅生  
13:35~14:35 海事リスクマネジメントシステムを構築するための基盤  
関西大学政策創造学部 教授・神戸大学大学院海事研究科 客員教授  
MTS 会員 羽原 敬二  
(海洋立国懇話会 理事)  
14:35~15:15 事故防止における船舶シミュレーションの役割と課題  
株式会社 日本海洋科学 専務取締役 MTS 会員 中村 紳也  
15:15~15:30 会務報告及び休憩 会務報告 幹事 寺田 政信  
15:30~16:10 操船現場における実態と海上交通法規のギャップ  
海上保安大学校 海上警察学講座 教授・神戸大学 客員教授 松本 宏之  
16:10~16:15 小休憩(室内配置変え)  
16:15~17:25 パネル・ディスカッション パネリスト:上記の各講師 3名  
司会 神戸大学大学院海事科学研究科 国際海事研究センター教授 会長 古莊 雅生
5. 情報交流会 17:30~19:30・総合学術交流棟エントランスホール・多数の参加をお待ちします
6. 参加費 研究会(含む、飲料・資料) 会員 1,000 円、非会員 3,000 円(会員の紹介で会員並み)  
情報交流会 会員・非会員とも 3,000 円
7. 問い合わせ先; 〒658-0022 神戸市東灘区深江南町5-1-1  
神戸大学大学院 海事科学研究科 国際海事研究センター・輸送システム科学研究部門  
教授 古莊 雅生(ふるしょう まさお)  
MTS 事務局: Tel・Fax: 078-431-6318 e-mail: [office@mts-matrix.org](mailto:office@mts-matrix.org)